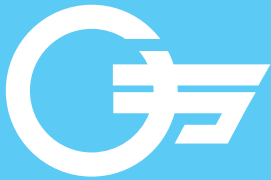


那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.42

平成26年7月23日発行



21000人の来場者で
盛り上がる駅前通り

第9回「ガヤガヤ★カミスガ」(6月1日)

平成26年那珂市議会第2回定例会

第2回議会報告会を開催	2ページ
第2回定例会提出議案等	4ページ
議案等の審議結果	6ページ
委員会等報告	8ページ
市政を問う 11議員が一般質問	10ページ
第3回定例会開会予定	16ページ



発行/那珂市議会
編集/議会広報編集委員会
〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5
TEL 029 (298) 1111 (代表)
FAX 029 (298) 6287
MAIL gikai@city.naka.lg.jp
URL <http://www.city.naka.lg.jp/>

第2回議会報告会を開催

3月定例議会の結果を報告し、皆様から様々なご意見をいただきました

那珂市議会では、議会基本条例を制定し、市民に開かれた議会を目指して、議会改革を推進しています。

議会報告会とは、議員が直接、議会の内容を市民の皆様へ報告し、市民の皆様から、市に対するご意見などを伺う場所として開催するものです。今回は、1月の開催に続き、第2回目の開催となります。



開催概要

◎ふれあいセンター ごだい

5月24日(土)
午後2時～午後4時20分
一般参加者 29人
発言者13人
出席議員 12人

◎ふれあいセンター よこぼり

5月25日(日)
午後2時～午後4時
一般参加者 39人
発言者 7人
出席議員 12人

会議概要

①議会報告(約1時間)

3月定例議会の内容を各委員会から報告

- ・議会運営委員会
- ・総務生活常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- ・教育厚生常任委員会

②質疑・意見交換(約1時間)

皆様より質疑やご意見を伺い、議会に関するものには回答しました。

皆様からの主な意見要旨は、次のとおりです。(●市民意見)

▼議会の答弁要旨

議会に関するもの

●議会報告会は今後、議会ごとに行うのか。

▼議会報告会は、最低でも年1回実施する。

●資料の説明は、わかりやすく補足説明をしてほしい。

▼限られた時間で簡単明瞭に説明できるように考えていく。

●市長の座談会に対する地区議員のかかわりはどうなのか。

▼議員と市長は、二元代表制の立場から、一線を画していくべきだと考える。

●一般質問の時間が、1時間となり昔より短くなった。時間を過ぎると、答弁が途中で途切れるのは考えてほしい。

▼時代の流れ、全国的な流れ、実際の質問時間、議会運営の効率化、傍聴者の意見などにより質問時間は変わってきた。

また、反問権による質疑応答は時間に含めないなど改善している。

●一般質問は議員が必ず1時間質問をしてほしい。議員は一般質問をするべきだ。議員を削減して、やる気のある議員の報酬を上げるべきではないか。

▼一般質問の1時間は権利であり義務ではない。目立つのは一般質問であるが、委員会の審議でも議会は活動しており傍聴してほしい。定数は、現在特別委員会を設置して審議している。

●水戸市との合併の問題、市長は前向きにということだが、議会ではどういう審議をしているのか。

▼議会として合併の話はしていない。

●那珂市行財政改革大綱第3次実施計画で、経常収支比率80パーセントを超えて財政が危ないということだが、那珂市は大幅に超えている。具体的にどのよ

うに改善していくのか。

●井戸水の検査で、災害の時に家庭に井戸水を提供できる方の水質検査は市がやるのか。

▼水質検査は、個人的に実施していただく。

●災害備蓄の58000食の保存場所はどこか、どんなものを備蓄しているのか。

●予算で今後、民生費が増加していく。税収が伸びない中、何を削っていくのか、長期的な予算の対策を考えているのか。

●市の職員の正規・非正規で、那珂市は、非正規職員が50%を超えている。人件費を抑える目的だと思うが、組織的に問題がないのか、その辺の見直しはどうなのか。

●女性に優しい職場にしないと人口の維持が難しいと思う。市を発展させるには、女性が働きやすい、住みやすい環境にしてほしい。

●ガスパイプラインの埋設、市民にも一定の情報を開示してほしい。

●市民にも一定の情報を開示してほしい。

●市民にも一定の情報を開示してほしい。

●市民にも一定の情報を開示してほしい。

市政に関するもの

また、反問権による質疑応答は時間に含めないなど改善している。

●一般質問は議員が必ず1時間質問をしてほしい。議員は一般質問をするべきだ。議員を削減して、やる気のある議員の報酬を上げるべきではないか。

▼一般質問の1時間は権利であり義務ではない。目立つのは一般質問であるが、委員会の審議でも議会は活動しており傍聴してほしい。定数は、現在特別委員会を設置して審議している。

●水戸市との合併の問題、市長は前向きにということだが、議会ではどういう審議をしているのか。

▼議会として合併の話はしていない。

●那珂市行財政改革大綱第3次実施計画で、経常収支比率80パーセントを超えて財政が危ないということだが、那珂市は大幅に超えている。具体的にどのよ

うに改善していくのか。

●井戸水の検査で、災害の時に家庭に井戸水を提供できる方の水質検査は市がやるのか。

▼水質検査は、個人的に実施していただく。

●災害備蓄の58000食の保存場所はどこか、どんなものを備蓄しているのか。

●予算で今後、民生費が増加していく。税収が伸びない中、何を削っていくのか、長期的な予算の対策を考えているのか。

●市の職員の正規・非正規で、那珂市は、非正規職員が50%を超えている。人件費を抑える目的だと思うが、組織的に問題がないのか、その辺の見直しはどうなのか。

●女性に優しい職場にしないと人口の維持が難しいと思う。市を発展させるには、女性が働きやすい、住みやすい環境にしてほしい。

●ガスパイプラインの埋設、市民にも一定の情報を開示してほしい。



ふれあいセンター よこぼり

議会報告会アンケート結果

24日と25日の2日間の参加者68人のうち、62人から回答をいただきました。

(合計は、無回答を除いており一致しません)

地区	神崎	額田	菅谷	五台	戸多	芳野	木崎	瓜連	市外
人	9	4	11	16	10	0	2	5	4

年代	20	30	40	50	60	70	80
人	0	0	2	2	22	32	3

男女	男	女
人	52	8

職業	会社員	自営業	農業	無職
人	2	4	14	36

感想	よい	ふつう	わるい
人	27	26	2

全国市区議会 議会改革度ランキング

那珂市議会は
全国市区議会で第98位(813市区議会中)
北関東で第2位(栃木・群馬・茨城)

平成26年4月の日本経済新聞社の調査による議会改革度ランキングにおいて、全国の813市区議会の中で、那珂市議会は第98位、北関東地区では、取手市に次いで第2位という結果になりました。この調査は、2年ごとに実施されており、前回の平成24年4月の結果は、601位でした。

当市議会は、平成24年の議員改選以来、議会改革を推進してきました。開かれた議会を目指すことを目標に、委員会などを積極的に公開し、請願陳情者が委員会に出席して説明できること、反問権の導入、議会録画映像の公開、議会基本条例制定、議会報告会の開催など、様々な取り組みを試行錯誤しながら進めております。2年間の一つ一つの積み重ねの結果、ランキングをアップさせたものと考えております。

当市議会の議会改革は、まだまだ課題が残されております。今後も、引き続き、市民の皆様が開かれた議会を目指して、改革に取り組んでまいります。

● 災害時に水が出ない場合など、公園などに井戸を設置してほしい。
● 人間ドックへの負担を検討してほしい。
● 小学校の体操でラジオ体操を実施してほしい。社会人になってから必要である。
● 雨水排水路の設置をお願いしたい。

● 後台駅の整備後は、防犯、環境衛生、管理を十分にお願したい。
● 下水道の整備状況はどうなっているのか。
● 那珂町と瓜連町の合併による評価はどう考えているのか。
● 国の教育改革の問題について、現場の教員の声を引き上げてきちんとした教育ができるようにしてほしい。
● 小中一貫について、何もわからない。県内の状況はどうなのか、

● 教職員の増減や、県や国の教育行政との関連はどうなのか。小中一貫の場合の相対的な経費の比較は検討したのか。
● 市のごみ処理場は、資源ごみでも持ち込むと有料。他の市町村では無料もある。段ボール、新聞紙、雑誌類、金属など無料の方向で検討してほしい。
● イノシシの被害が増加している。那珂市の保護区を解除してほしい。

● 向山の市有地が敷になって、イノシシの隠れ家になっている。市有地の活用や対策について考えはあるのか。
● 額田の城跡整備は、今後どのようなのか。
● 有ヶ池の水田周辺の道路が悪い。その辺の対応は考えているのか。

● 本米崎小学校の跡地利用について、どのように考えているのか。
● バスが走れない道路の整備をしてほしい。
● 農産物を直売所に出荷すると、東海村では15%が、農業振興という名目で手数料が返ってくる。那珂市ではできないのか。
● 茨交バスの太田線が廃止になった。公共交通は大事であり、交通弱者が困っている。どう考えているのか。

補正予算など12議案を可決

補正予算1件を修正可決しました



定例会最終日（6月24日）の本会議の様子
委員長報告の後、議案等の採決では
3議案で賛否が分かれました（7ページを参照）

平成26年第2回定例会

（6月9日～6月24日）

6月9日	本会議 （議案の上程説明など）
6月11日	本会議 （一般質問 6名）
6月12日	本会議 （一般質問 5名） （議案質疑、議案等の委員会付託）
6月16日	総務生活常任委員会
6月17日	教育厚生常任委員会
6月18日	産業建設常任委員会
6月24日	本会議 （委員長報告、採決など）

議案件数と結果

市長提出議案等（12件）	
条例関係	3件（すべて承認）
予算関係	7件（1件を修正可決）
その他	2件（すべて報告・可決）
議員提出議案等（1件）	
意見書	1件（9ページを参照）
請願・陳情（3件）	
請願	2件（9ページを参照）
陳情	1件（9ページを参照）

平成26年第2回定例会概要

今定例会は、平成26年6月9日～24日の16日間にわたって開催されました。

議員表彰

全国及び茨城県市議会、議長会からの議員表彰、感謝状について、今年は、2名の議員が対象となりました。詳しくは、次のページをご覧ください。

全12件の議案等を審議

今定例会に執行部から提出された議案等は、平成26年度の補正予算など、全12件です。議案は付託された各常任委員会で審議された後、最終日に採決されました。議案のうち、1件は常任委員会から修正案が提出され、採決の結果、修正可決されました。議決結果、審議内容については、6ページをご覧ください。

請願・陳情に基づき意見書を提出

今定例会では、3月定例会からの継続審査も含め、3件の請願・陳情が審議対象となり、1件を不採択としました。採択となった案件については、国に対し、意見書を提出することになりました。詳しくは、9ページをご覧ください。

補 正 予 算

平成 26 年度補正予算 1 件を修正可決、 2 件を原案可決

会 計 名	補 正 額	補正内容	補正後の総額
一般会計補正予算 (第 1 号) (修正可決)	修正後 7,034 万 4 千円 (原案) 7,734 万 4 千円	下水道事業特別会計繰出金など	182 億 2,034 万 4 千円
	(修正理由) 上菅谷駅前の公衆トイレ建設に 700 万円を追加した 2,760 万円の事業費は高すぎると思われる上、見積額の明細が示されないため予算の妥当性の判断もできない。また、公衆トイレを JR の敷地に建設する計画は白紙に戻し、駅に隣接する市有地に、市が独自に建設することも検討するべきである。そのため、上菅谷駅舎建設事業の補正額 700 万円を全額削除する。		
下水道事業特別会計補正 予算 (第 1 号)	4,500 万円	単独災害復旧事業	23 億 7,500 万円
一般会計補正予算 (第 2 号)	65 万 1 千円	住民投票条例検討委員会 設置事業	182 億 2,099 万 5 千円

副会長
○茨城県市議会議長会
福田 耕四郎 議員

【感謝状】

○議員在職 15 年以上
加藤 直行 議員

【表彰】

◆茨城県市議会議長会

○正副議長 4 年以上
福田 耕四郎 議員

【感謝状】

○議員在職 15 年以上
加藤 直行 議員

◆全国市議会議長会

○正副議長 4 年以上
福田 耕四郎 議員

以下の議員が、全国及び茨城県市議会議長会から自治功労の表彰と感謝状を受け、6 月 9 日の本会議の際に議長から伝達されました。

全国・茨城県市議会議長会自治功労者表彰

◆◆ 那珂市議会ホームページのお知らせ ◆◆



那珂市議会は、市民に開かれた議会を目指します。

平成26年5月から、那珂市議会ホームページに、会議の予定を掲載したカレンダーを、新たに設けました。詳しくは、那珂市議会のホームページをご覧ください。

←市議会のページの「那珂市議会カレンダー」をクリックすると、左のようなカレンダーをご覧いただけます。

那珂市ホームページ
<http://www.city.naka.lg.jp/>

委員会審議

総務生活常任委員会

瓜連駅北側市有地等の活用について（報告案件）

市では、現在未利用となつている瓜連駅北側の約1.3ヘクタールの市有地（一部民有地を含む）の有効活用を図るため、民間事業者へ、プロポーザル方式により公募を行い、活用内容を審査した上で、土地を賃貸、又は売却しようと考えております。

問 この土地の今までの検討経緯を知りたい。



総務生活常任委員会での審議

の検討経緯を知りたい。

答 瓜連町が福祉関連施設の用地として取得し、具体的な活用を模索してきたが、結論が出ないため、用途を広げ、民間から提案型の公募をすることになりました。

住民投票条例の制定について（報告案件）

市では、市政の重要事項の住民意思について、投票により確認する制度を導入する考えです。その制度を構築するための検討委員会を設置するものです。（8ページ参照）

産業建設常任委員会

平成26年度一般会計補正予算（第1号）

問 上菅谷駅舎建設事業費は、JRから工事の見積の明細が示されず判定材料がないた

議案の議決結果一覧

※請願・陳情は別途掲載しております。9ページをご覧ください。

執行部提出議案等			
件名	結果	内容	
報 告			
第3号 専決処分について（那珂市税条例の一部を改正する条例）	承認	地方税法の一部改正に伴うもので、主に、優良住宅地等の造成等のための長期譲渡所得に係る軽減税率の適用期限の延長を講じるなどの内容（平成26年4月1日施行）	
第4号 専決処分について（那珂市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認	地方税法の一部改正に伴うもので、主に、一部条文の見直しによる改正（平成26年4月1日施行）	
第5号 専決処分について（那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	地方税法の一部改正に伴うもので、主に、国民健康保険税の課税額のうち、後期高齢者支援金等課税額・介護納付金課税額の賦課限度額の引上げ、及び国民健康保険税の減額において、対象者及び控除額を拡大するもの（平成26年4月1日施行）	
第6号 専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	報告	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告	
議 案			
第43号 工事請負契約の締結について	可決	耐震診断の結果を受け、菅谷西小学校の耐震補強工事及び電気・機械設備等の大規模改修工事について工事請負契約を締結するもの	

予 算 関 係			
件名	結果	内 容	
報 告			
第7号 平成25年度那珂市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	前年度からの事業費繰越額の報告	
第8号 平成25年度那珂市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告		
第9号 平成25年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告		
第10号 平成25年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告		
議 案			
第41号 平成26年度那珂市一般会計補正予算（第1号）	修正可決	平成26年度各種会計補正予算（5ページを参照）	
第42号 平成26年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決		
第44号 平成26年度那珂市一般会計補正予算（第2号）	可決		

議員提出議案等			
件名	結果	内 容	
意 見 書			
新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書	可決	詳細は9ページを参照	



産業建設常任委員会での審議

め、この補正は認められない。トイレはJR敷地ではなく、市有地に建設することも考えるべきではないか。

答 現在のトイレわきの駐輪場が市有地で、ここに変更が可能かと思えます。ただし、工事の変更となるとJRとの再度協議が必要になります。現在の工事の残工事が出ると思われるため、その協議も必要です。また、場所を移すと、新たに設計変更の委託料が生じると思われ、これは概算で100万円以内だと思えます。仮に、市有地で市内の指名業者

問 国民健康保険税の課税限度額の引き上げ

専決処分（那珂市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

布します。再診しなかった方に、再度無料クーポン券を配布します。

答 通常の対象者は、子宮頸がん検診は20歳から40歳までの5歳きざみ、乳がん検診は40歳から60歳までの5歳きざみですが、今年度は、受診率向上を目指して、平成21年度から24年度までに配布対象となった方のうち、受診しなかった方に、再度無料クーポン券を配布します。

問 がん検診推進事業の無料クーポン券を新たに配布する対象者は。

平成26年度一般会計補正予算（第1号）

教育厚生常任委員会

が作る場合、金額ははつきりしていませんが、少なくともJRの管理費約100万円は減らせると考えます。



教育厚生常任委員会での審議

逆、所得の低い方への保険税の軽減措置については、今回の改正で、5割軽減、2割軽減ともに、軽減の判定計算の際の控除額が上がり、保険税の軽減対象者が拡大されます。

により影響を受ける世帯はどのくらいか。

答 この改正は、国民健康保険税の課税額のうち、後期高齢者支援金と介護納付金の部分の課税限度額をそれぞれ2万円引き上げるものです。影響を受ける世帯は、年間所得900万円以上の約180世帯で、改正により保険料が最大4万円上がります。

賛成多数により議決した議案

○：賛成 ●：反対 ※議長（助川 則夫議員）は採決に加わりません。

議案等名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		筒井かよ子	寺門厚	小宅清史	助川則夫	綿引孝光	木野広宣	古川洋一	中庭正一	萩谷俊行	勝村晃夫	中崎政長	笹島猛	君嶋寿男	武藤博光	遠藤実	福田耕四郎	須藤博	加藤直行	石川利秋	木村静枝	海野進	木内良平
報告第5号 専決処分について（那珂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
議案第41号 平成26年度那珂市一般会計補正予算（第1号）（修正案）	修正可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第41号 平成26年度那珂市一般会計補正予算（第1号）（修正以外の部分）		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第1号 要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願書（9ページを参照）	不採択	●	○	○	-	●	●	○	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●

委員長報告（閉会中）

各委員会で、新たな調査事項を検討、決定しました。

委員会名	実施日	会議経過
総務生活 常任委員会	5月12日	議会報告会に向けた報告内容の検討を行いました。また、前回の委員会で決定した「環境保全調査」という調査事項に関して、具体的な調査内容について協議を行いました。結論が出ず、6月定例会以降に再検討することになりました。
産業建設 常任委員会	5月8日	議会報告会の報告内容を検討したほか、「ブランド品、特産品における地域の活性化」を調査事項とすることに決定しました。また、農政課、都市計画課から、6月定例会提出予定の案件等について説明を受けました。
教育厚生 常任委員会	4月30日 5月13日	4月30日に、地域の声を学校運営に活かす取り組みとして、「コミュニティ・スクール」を調査事項とすることに決定しました。 5月13日は、前定例会から継続審査となっている請願の審議と、議会報告会に向けた報告内容の検討を行いました。 なお、定例会期中の6月17日の委員会で、教育委員会から「コミュニティ・スクール」について、内容や市の現状と課題などの説明を受けました。また、7月に三重県、滋賀県での先進地視察を行い、どのような導入が望ましいかを調査研究していくことにしました。
原子力安全対策 常任委員会	5月16日	那珂核融合研究所、三菱マテリアル、三菱原子燃料、ジェー・シー・オーの4事業所から年間事業計画の説明を受けました。 また、市内原子力事業所の気体廃棄物については、いずれの事業所も放出管理目標値を下回っていたことを確認しました。
議員定数等調査 特別委員会	4月21日	委員会の目的や調査検討する内容について確認し、現在の議員定数、議員報酬、政務活動費の状況について調査しました。議員定数、報酬、政務活動費について、12月頃までに委員会としての意見をまとめていく方針で進めていくこととし、意見をまとめるに当たっては、市民の意見を聴取するため、公聴会を開催することにしました。

全員協議会

◎6月9日

◆閉会中の常任委員会調査等案件の報告

今回から、原則として、執行部からの報告案件については、所管の各常任委員会で対応し、委員会の調査内容とあわせて、委員長が直近の全員協議会で報告することになりました。

◎6月23日

◆住民投票条例の制定について（総務生活常任委員会報告）

住民投票条例は、東海第二原子力発電所の再稼働という背景もあり、市で準備が進められているとのこと。制定されれば茨城県内で初の取り組みとなります。那珂市では、対象事項や発議方法をあらか

じめ制定しておき、要件を満たした場合に実施できる、常設型住民投票条例の制定を目指すとのことでした。そのために、検討委員会を設置し、十分な議論を行った上で、来年3月の議会に条例案を提出するという予定です。

議員からは、投票結果にしばられる場合があることや、行政や議会の地位低下を招く恐れがあることについて指摘があり、制定には、十分慎重に検討していくことを求める意見が出されました。

（市民協働課）

◆日本原子力発電（株）による安全審査申請の内容説明

福島第一原子力発電所の事故の教訓から原子力発電の従来の基準が見直され、平成25年7月8日に新しい規制基準が施行されました。東日本大震災以降稼働を停止している東

海第二原子力発電所について、新しい規制基準への適合性を確認するための審査申請を国の原子力規制委員会へ行ったことから、その申請内容について日本原子力発電株式会社に説明を求めました。

議員から、機器等の老朽化に対する対策は大丈夫なのか、テロ対策はどうか、想定外を想定するための議論を行ったか、現場で働く人すべてに安全教育が行き届いているのか、使用済燃料の対策はなされているか、災害が起きた場合の補償は万全かなど様々な質問が投げかけられました。また、天災、人災は起こりうるものであり、対策を徹底することを強く求める意見も出され、安全対策がなされているかについて、入念な確認を行いました。

日本原子力発電としては、設備等の安全対策は十分に行っており、職員の教育、訓



全員協議会での審議

へ練など、安全への意識づけもすっかり行い、万一の場合も、補償など、誠意ある対応を取りたいということでした。

◎その他の会議事件

◆常任委員会所管事項
調査報告

・総務生活常任委員会 (4件)
・教育厚生常任委員会 (4件)

◆追加議案について
(平成26年度)

那珂市一般会計
補正予算(第2号)

請願・陳情の審査結果

要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願書

不採択

介護保険制度において、これまで要支援者に行っていた介護予防給付のうち、訪問介護、通所介護を予防給付から切り離して市町村が行うことにしようとしていることに反対するものです。

委員から、地域格差を生じさせないためにも国で一律の給付を行うべきという賛成の意見が出された一方で、現時点ではサービスの低下は把握しておらず、今後は市としても介護予防に力を入れ、地域と協力しながら市独自のケアを進めていくべきであるという反対の意見も出されました。

採決の結果、可否同数であったため、委員長の採決により不採択とすべきものと決定しました。

(教育厚生常任委員会)

請願者 水戸市城南3-15-24 茨城県社会保障推進協議会代表委員 瀧澤 利行 外2名

新聞購読料への消費税 軽減税率適用を求める陳情

採 択

消費税10%への引上げに際し、複数税率の導入と新聞への軽減税率適用を実現すること、軽減税率適用を求める意見書を提出することを求めるものです。

委員会では、民主主義を支える公共財として、多くの先進国で新聞と知識に対する課税は最低限にされていること、県議会をはじめ、他の県内市議会等でもその趣旨に賛同していることから、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。

(総務生活常任委員会)

請願者 那珂市菅谷676
有限会社大和田新聞販売
代表取締役 大和田 勝三

「労働者保護ルールの 現行制度の維持・改善を 求める意見書」の採択に関する請願

採 択

「解雇の金銭解決制度」、「限定正社員」制度の普及、「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入などを行わないこと、派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うこと、雇用・労働政策に係る議論はILOの三者構成主義に則って労働政策審議会でいうこと、以上3点を国に求める意見書の採択と提出を求めるものです。内容は賛同できるものであり、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。

(産業建設常任委員会)

請願者 水戸市梅香2-1-39
日本労働組合総連合会 茨城県連合会
会長 和田 浩美

意見書を提出

労働者保護ルールの現行制度の
維持・改善を求める意見書

政府の一部会議体に見られる、労働者の安易な解雇や長時間労働の助長、労働者保護ルールの後退を招く恐れのある動き、ILOが提唱する公・労・使の三者構成原則から逸脱した政府の仕組みに反対し、それらは是正を求めるものです。

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣、
経済再生担当大臣、
内閣府特命担当大臣(規制改革)、
衆議院議長、参議院議長

新聞への消費税軽減税率適用を
求める意見書

新聞は国民の知る権利を支え、活字文化の保持に寄与する生活必需品であり、国民が国の針路などについての確な判断を行うためにも、様々な分野の情報を入手しやすい環境が必要であることから、消費税引き上げに際し、複数税率の導入と新聞への軽減税率適用を求めるものです。

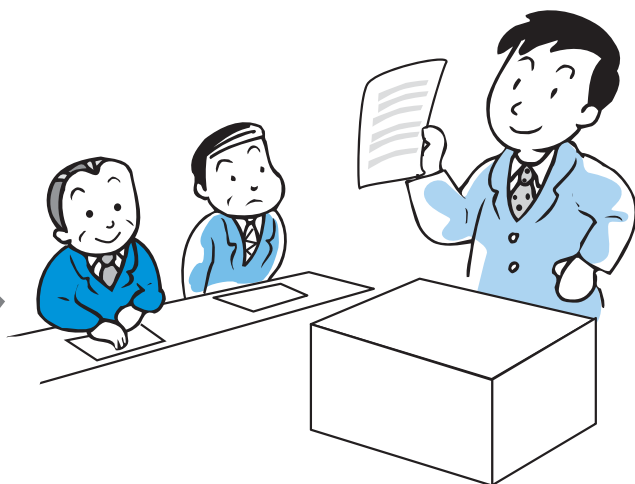
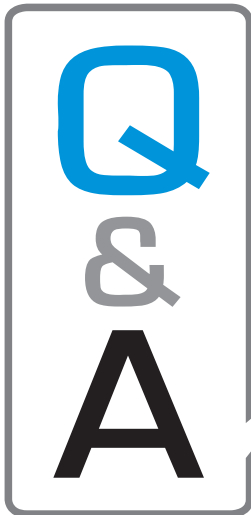
提出先

内閣総理大臣、財務大臣

市政を問う

[一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しています]

11人の議員が登壇し、
様々な視点から
市政を問いました。



土砂等の埋立ての適正管理を

今後、しかるべく対応します

土砂等の土地の埋立て
条例について伺いま

は市条例に適合させる
ものです。

す。この条例は申請前
に事前審査が必須条件
ですが、福田地区の住
民からダンプカーが出
入りして埋め立て
をしていてという不安
の声を耳にしました。

市長 今後は自治会
長さんにお話をして、
コミュニケーションを
はかりまして、ご提案
されたことを胸に刻み
まして、しかるべく対
応してまいります。

条例には面積要件とし
て、市は500㎡以上
5000㎡未満と定義
されています。しかし
現地は約7000㎡
で、市の許可ではなく
県の許可になるのでは
ないですか。条例の趣
旨に則り職務を全うし
て頂きたいと要望しま
す。また、今回の場合、
自治会長さんに連絡が
なかったと聞いていま
す。

市民生活部長 今回
の場合は近隣住民にご
迷惑をおかけし、お詫
び申し上げます。

副市長 県条例には
面積の合算規定があり
ませんので、この事例

那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制
に関する条例（一部抜粋）

第6条 埋立て等区域の面積が500平方メートル以上5,000平方メートル未満の土地の埋立て等(当該埋立て等区域の土地に隣接する土地において、当該土地の埋立て等を行う者若しくは当該埋立て等区域と同一の所有者により当該土地の埋立て等を施工する日前1年以内に土地の埋立て等が行われ、又は現に行われている場合は、その面積を合算するものとする。)を行おうとする者は、市長の許可を受けなければならない。

質問事項

- 1 土砂等による土地の埋立てについて
- 2 廃棄物について



福田耕四郎 議員

ごみの減量化について

可燃ごみの紙類・生ゴミ削減重点

第2次那珂市環境基本計画では、ごみの発生抑制・再使用・リサイクルを徹底し平成34年度に、ごみ総排出量を平成12年度の20%を削減するとしているが、具体的な目標数値が未設定です。①目標値と設定根拠は何か伺います。②10年で3千8百トン減らすこの目標値を市民に告知しましたか。3千8百トンの告知は未実施につき、年度別に何をどれだけ減らすのか市民へ至急告知願います。ごみ減量化は紙と生ごみを重点に減らさねばなりません。③その他紙類の分別回収袋の設定や生ゴミ処理機使用者増の簡易生ゴミ処理機の導入促進、補助対象枠の拡大を検討お願いします。

市民生活部長 ①国の定める数値を元に総排出量削減目標は

一般廃棄物/一人1日当たりの排出量 (g/人・日) と年間総排出量の推移

年度	一人1日当たりの排出量 (g/人・日)		基準年比増減率 (%)	年間総排出量 (t)	[参考]茨城県 (g/人・日)	[参考]全国 (g/人・日)
	那珂町	瓜連町				
平成12年度	936.2	802.6		19,212	1,033.3	910.0
平成13年度	948.5	823.7		18,709	1,034.6	914.2
平成14年度	916.7	917.9		18,019	1,029.5	917.8
平成15年度	920.7	866.5		18,015	1,027.4	930.3
平成16年度	915.8			18,005	1,011.5	959.9
平成17年度	937.3		—	19,364	1,033.4	982.2
平成18年度	945.5		▲ 0.875	19,495	1,022.7	979.4
平成19年度	900.2		△ 3.96	18,593	1,000.6	979.9
平成20年度	884.5		△ 5.63	18,163	975.0	920.4
平成21年度	823.8		△ 12.1	16,870	949.7	908.0
平成22年度	859.3		△ 8.32	17,549	948.0	900.9

①平成24年度 843.0 (90.0%) (△10.0) 17,224 (89.6%) (△10.4)
 ②平成25年度 832.8 (89.0%) (△11.0) 17,009 (88.5%) (△11.5)
 ※()内は平成12年度を100とした場合の比較①H24年はH24.9.1の人口55,974人にて算出
 ②H25年はH25.9.1の人口55,954人にて算出
 (出典: 国立環境研究所 環境指標・統計より)

生ゴミ処理機購入補助件数の推移 (単位:台)

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
コンポスト	23	49	53	35	35
電動処理機	25	29	23	18	10
合計	48	78	106	53	45

(出典: 第2次那珂市基本計画)

質問事項

- 1 ごみの減量化について
- 2 職員の人材育成について
- 3 友好都市交流について
- 4 戸多小学校跡地利用について



寺門 厚 議員

安定ヨウ素剤を分散配備しては

避難計画の中で検討していきます

①原子力災害時に配布する安定ヨウ素剤の現在の保管数量、その数量で市民全員が賄えるのか、どこに保管しているのか伺います。
危機管理監 安定ヨウ素剤は40歳未満の分として丸薬4万錠、内服液に調製する粉薬を500g保管しており、不足分は今年度中に県が購入し、市民全員分が確保できる予定です。保管場所は市役所とひだまりです。
 ②保管場所は2カ所とのことですが、スムーズに配布できるよう各地区に分散してはどうでしょうか。また、配布が必要になった場合の薬剤師の関わりについて伺います。

危機管理監 保管場所は、緊急時に速やかに取り出し、配布ができる場所である必要があります。避難経路付近の公共施設や学校も



安定ヨウ素剤 (丸薬)
 安定ヨウ素剤を事前に服用することで、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを低減することができます。

質問事項

- 1 ヨウ素剤について
- 2 額田城跡の今後の整備は



萩谷俊行 議員

額田城跡の土地の市有化について

市の保存管理と保護が必要と認識

額田城跡は民有地がほとんどであり今後保存整備していく上で文化財指定区域全体としてが望ましいが、主郭となる本丸を市有化してはどうですか。

また大型バスの駐車場も兼ねて整備についてお伺いいたします。

教育部長 額田城跡

の文化財指定区域は7.6ヘクタールあり、道路等を除くと土地は民有地となっております。保存管理にあたり土地の所有者の承諾を頂き地域の方々の協力を得ながら間伐や下草、遊歩道の整備を行ってきました。中世の城跡として貴重な歴史資産であり新たな歴史資料も見つかっていることから、発掘調査等の学術調査を実施し、市としての保存管理が必要と考えています。県の文化財指定の認定を受けるよう進めています。

きながら、将来的に用地の買収あるいは環境整備も必要と考えています。

駐車場としては、額田中央公民館の敷地について財政課と調整をしながら額田地区の自治会の方とも調整を図り大型バスが停められる方向で考えております。

質問事項

- 1 コミュニティ広場の設置について
- 2 額田城跡の土地の市有化について
- 3 バスターミナルと物産センターの計画を



武藤博光 議員



二の丸の作業様子



遊歩道の散策



まちめぐりマップ

空き家管理条例・バンク制度を

実態調査を実施し現状把握する

近年増加している空き家の対策として、昨年「空き家の適正管理条例の制定」「空き家バンク制度の導入」を提案しましたが、どのような検討をされたか伺います。また、市内の空き家の現状を把握するための調査をしていただきたい。そして、老朽化した空き家には、適正管理を所有者に「お願いするしかない」現状を変えるために、代執行まで見据えた条例を早急に制定すべき。一方、利活用が可能な空き家については空き家バンクを利用して、那珂市への定住希望者に対する支援策として役立てていただきたい、と再度訴えます。

近年増加している空き家の対策として、昨年「空き家の適正管理条例の制定」「空き家バンク制度の導入」を提案しましたが、どのような検討をされたか伺います。また、市内の空き家の現状を把握するための調査をしていただきたい。そして、老朽化した空き家には、適正管理を所有者に「お願いするしかない」現状を変えるために、代執行まで見据えた条例を早急に制定すべき。一方、利活用が可能な空き家については空き家バンクを利用して、那珂市への定住希望者に対する支援策として役立てていただきたい、と再度訴えます。

質問事項

- 1 産業の活性化について
- 2 空き家対策について

市民生活部長 条例については、国の法制化に向けた動きを注視しながら引き続き検討していく方針です。バ

空き家等の適正管理に関する条例

市町村名	条例名	施行年月日			内容				
		年	月	日	勧告	命令	公表	罰則	代執行
群馬県渋川市	渋川市安全で安心なまちづくりの推進に関する条例	H18	2	20	●				
山形県舟形町	舟形町空き家等の適正管理に関する条例	H24	4	1	●	●			
茨城県牛久市	牛久市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例	H24	7	1	●	●	●		
秋田県にかほ市	にかほ市住みよい環境づくり条例	H24	9	25	●	●	●	●	
茨城県八千代町	八千代町空き家等の適正管理に関する条例	H25	1	1	●	●	●		●
神奈川県横須賀市	横須賀市空き家等の適正管理に関する条例	H24	10	1	●	●	●	●	●

出典：国土交通省による都道府県への聞き取り調査結果（平成25年1月）



遠藤 実 議員

東海第二原発の安全審査説明を

きちんと説明するよう求める

日本原子力発電は、東海第二原発の基準適合審査の申請に当たって、原発の安全確立や構想について、議会や住民に何ら説明をしていません。

原子力規制委員会は、原発の再稼働そのものは判断せず、あくまでも基準を満たすかどうかの審査であるとしています。安倍政権は、原発推進を変えず、原子力規制委員会が安全と認めれば、原発を再稼働させる狙いがあります。日本原電の申請手続きは、東海第二原発の再稼働を実現するもくろみがあります。

議会や住民には、十分な情報を提供し、話し合いの場を持つよう市長は原電に申し入れてほしい、また原発事故の時の避難計画はできているのか伺います。

市長 原電に対し、きちんと説明するよう議会と同様に申し入れます。

危機管理監 県の避難計画では、東海第二原発から30キロ圏内の市町村も参加して作業を進めています。避難先がまだ確定していません。現在他県への避難も含めて調整をしています。



木村静枝 議員

質問事項

- 1 那珂市の地域興しについて
- 2 東海第二原子力発電所の再稼働について
- 3 自然エネルギー利用の促進を
- 4 教育委員会制度改定と全国学力テスト学校別公表について

大飯原発差し止め訴訟判決

一人ひとりの生存し、生活し、幸福を追求する権利である「人格権が、公法、私法を問わず、すべての法分野において、最高の価値を持つ」とのべ、被害をもたらす施設の運転差し止めを請求する権利が住民に十二分にある。

どう進める生活道路の充実

舗装率の向上と通学路整備の推進

市道の中には緊急車両が通行できない道路、車が交差できない狭い道路、砂利がむき出しの未舗装道路があります。子供たちの通学や緊急時の対応を考えると早期の解消が必要です。

例えば、上菅谷駅南側の大宮街道の踏切は道幅が狭く、歩道がなく、歩行者や自転車が車に接触しかねない危険な場所です。早急に歩道整備をすべきです。

また、近年の気候の変化によるゲリラ豪雨に対応するための雨水排水対策についてと、本市の道路行政の方針について伺います。

建設部長 歩行者の安全性の観点からも拡幅の必要性については認識しています。今後、拡幅条件等について、改めてJRに確認し、踏切拡幅について

の方向性を探っていきます。

排水路の整備については円滑に雨水処理ができるよう、設計、施工を実施していきます。

市長 継続的に道路の新設や改良、維持補修を実施し、舗装率の向上に努めます。特に通学道路は最優先で整備していきます。



笹島 猛 議員

質問事項

- 1 地域産業の活性化について
- 2 公共施設の老朽化対策と市道の現状について



上菅谷駅南側の大宮街道の踏切

人口減少について

冷静に受け政策等に進めていく

2040年の人口推計、那珂市は、5万4240人が4万2625と、83.9%に減るとい結果が出ています。

県都水戸のベッドタウンとして、執行部はどのように考えているか。人口減少を食い止め若者の定住を図るため、企業誘致、働く場所、そのためのイオンの那珂SCは現在どうなっておりますか。

子育て支援として、保育ボランティア養成講座、育児教室の開設、行政、家庭、企業などの地域力の支援体制づくり、更に各地域に保育所の考えも必要と思えます。

ております。

保健福祉部長 子育て支援事業の中でも地域展開が必要なものにつきましては、地域子育て支援センター「つぼみ」を中核として今後も子育て世帯のニーズに対しきめ細かに対応してまいります。



須藤 博 議員

質問事項

- 1 人口減少について
- 2 区域指定について



リヴェールキッズスクール（后台の民間学童保育所）

「読書通帳」導入について

市ではこれまでの取り組みを継続

近年、活字離れが指摘される中、市民に読書に親しんでもらう取組みの一つとして、読書通帳を導入する動きが各地で見え始めております。この取組みは、借りた本の履歴を目に見える形で残す事によつて、子供を中心に市民の読書への意欲を高める効果が期待されております。現在各自治体において図書館利用の推進を図るため、

地域の特色を生かした、さまざまな取組が行われておりますが、読書通帳の導入は効果的な取組みの一つとして推進できるものと考えます。市として読書通帳を導入する考えがあるのか伺います。

教育部長 市立図書館は、子供から高齢者まで、幅広い住民の知識の道しるべとなる図書館を基本理念としております。子供たちに



木野広宣 議員

質問事項

- 1 図書館利用推進について
- 2 農地改良制度について



那珂市立図書館での取組み（おはなし会）

まちなかの賑わいづくりを提案

課題を整理して前向きに検討する

上菅谷駅前地区は本市の玄関口であり顔でもありますが、その賑わいづくりのために、「立ち止まらずにはいられない場所の創出」をコンセプトに、市民や観光客にも嬉しいと思われることを2つ提案します。

①本市の観光案内、イベント情報、商工会関係の店舗案内、市民活動団体等の案内、児童等の作品展示などをジャンルごとに掲示し、「那珂市の最新の情報がここにある」と言えるような特大掲示板を設置してはどうか。

②駅から宮の池公園通りにかけて、市が主体となつて花（ハンギングバスケット等）で装飾してはどうか。市長の考えを伺います。

市長 特大掲示板については設置場所や景

観上の問題、維持管理の問題など解決すべき課題があるため、調査研究をして判断していきます。

まちを花で飾ることについては大変素晴らしいと思います。よりシンボリックな緑化を進め、市の緑化政策の先導的役割を担えるように考えていきます。

質問事項

- 1 まちなか賑わいづくりについて



花（ハンギングバスケット）による装飾のイメージ



特大掲示板のイメージ



古川洋一 議員

額田城跡濠跡のごみ撤去を

間伐材等できる範囲で搬出したい

平成元年に「ふるさと創生を考える会」が町民等からアイデアを募集して、ハード事業として、額田城址公園の整備が提言されましたが、オークリッジ市との国際交流事業に決定し、派遣生徒数は23年間で204名です。しかし矢祭町は毎年中学3年生全員が派遣され5年間で355名です。本市は観光振興に資する事業を先送りした結果、国際交流事業は事業内容や効果等に問題があります。

また、額田城跡の土塁をゴミ処分場とした結果、蝇や鼠及び悪臭等に悩まされたので、土塁をブルドーザーで削り廃棄物に土を被せた件と水質検査及び芥の撤去について伺います。

教育部長 間伐材などできる範囲で搬出したいと考えています。

市民生活部長 土塁を崩したのは文化財保護法の観点から重視しなければならぬと考えています。また、水質検査は行っておりません。



額田城跡濠跡の廃棄物

質問事項

- 1 文化財保護行政について
- 2 ごみ焼却施設について



石川利秋 議員

議 会 日 誌

4月		5月	
15日	議会運営委員会	8日	産業建設常任委員会
16日	広報編集委員会	12日	総務生活常任委員会
21日	議員定数等調査特別委員会	13日	教育厚生常任委員会
24日	広報編集委員会	16日	原子力安全対策常任委員会
25日	全員協議会	19日	議会運営委員会
	議員勉強会		全員協議会
30日	教育厚生常任委員会	23日	全員協議会
		24日	議会報告会 (ふれセンごだい)
		25日	議会報告会 (ふれセンよこぼり)

平成26年第3回定例会開会予定

月日	曜	議 事 予 定
9・9	火	本会議 ○開会 ○議案の上程・説明
9・11	木	本会議 (一般質問)
9・12	金	本会議 (一般質問) ○議案質疑 ○議案の委員会付託 ○陳情・請願の委員会付託
9・17	水	常任委員会
9・18	木	常任委員会
9・19	金	常任委員会
9・25	木	全員協議会
9・26	金	本会議 ○委員長報告 ○採決 ○閉会

この会期日程は、議案件数や一般質問者数によって変更になる場合があります。

日程の変更や詳細については、議会事務局や議会ホームページでもご案内しています。お気軽にお電話、お立ち寄りください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、8月22日(金)までにお願いします。

●● 議会の傍聴について ●●

那珂市議会では、議会の本会議・全員協議会・常任委員会・特別委員会を公開しています。

傍聴をご希望の方は、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいでください。傍聴の手続きは、所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できます。

お気軽においでください。

6月定例会の傍聴者数152人(延べ人数)

◆◆ 議会録画映像を公開しています ◆◆

6月定例会の録画映像をインターネットで視聴できます。「You Tube」の動画サイトに掲載しました。詳しくは、那珂市ホームページの市議会のページをご覧ください。

那珂市ホームページ

<http://www.city.naka.lg.jp/>

那珂市議会のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。

表紙に寄せて

上菅谷駅前通りが2カ月に一度、巨大な歩行者天国になる。1000店を超えるお店、20を超えるイベント企画で400メートルの通りは大勢の人で埋めつくされる。2011年10月に第1回が行われて以来、毎回数万人の人出でにぎわう。昨年「地域づくり総務大臣表彰」も受けた。

編集後記

木野 広宣



今年も電力不足に備えた節電の夏が始まりました。経済産業省によると、午後2時ごろの家庭の電力使用割合はエアコンが58%、冷蔵庫17%、照明6%、テレビ5%と、エアコンの使用の工夫が節電に効果的とされています。無理のない範囲で、熱中症に気をつけた上で、家庭や職場でできる節電を心がけていきたいと思っています。

議会広報編集委員会

委員長 寺門 厚
副委員長 小宅 清史
委員 筒井かよ子
委員 木野 広宣
委員 君嶋 寿男
委員 木村 静枝
委員 海野 進